1

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	美しい山形・最上川フォーラム
代　表　者	会長　柴田　洋雄
所　在　地	山形県山形市緑町 1-9-30　緑町会館
事業内容	「身近な川や水辺の健康診断」 1．目的 ・「身近な川や水路の水質が知りたい」という県民の声に応えるため、誰もが参加しやすく、わかりやすい水質調査を平成14年度から毎年実施。水のにごりや富栄養化（窒素・リン）の問題への理解と関心を高める。 ・簡単な水質調査キットを使って調べる活動を通じて、河川への関心を深め、生活との関わりを理解し、水環境の大切さや改善したい課題を発見することで、水質や水の循環、動植物の生息環境の保全や改善のための取組みにつなげていく。 ・調査結果はホームページで公表し、情報の共有や地域ごとの課題解決の材料として活用することを期待する。 2．内容 （１）参加グループ数：100グループ、調査地点250地点を想定 （２）調査の実施期間：6月1日（土）～6月9日（日） ※学校の授業・部活動等で実施する場合、6月1日（土）～8月23日（金） 参加者は、期間内で都合の良い目時に希望の場所にて調査活動を行う。 （３）調査項目 ①パックテスト6項目（パックテストや比色カード、調査マニュアル等は当フォーラムが提供。） （pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リン） ②川の概要（水温、川幅、水深等） ③1メートル透視度計による透視度測定（貸し出しを行う） ④水辺環境の目視調査（自然植生、泡立ち、散乱ごみ等） ⑤外来生物・植物の目視確認（発見したか否か） ⑥水生生物調査（主催：山形県環境科学研究センター） ※調査を希望する団体のみ当フォーラムを通して申込み可能とする。 ⑦公定法調査実施機関に対して、大腸菌群数調査も合わせて依頼。 （４）調査結果 ・実施グループより6月14日（※学校関係は、8月30日）まで報告書を提出してもらい、データを集計する。 ・調査結果を総合的に分かりやすく表すために、各調査項目を得点化し、清流指標「水辺診断書」（五角形によるレーダーチャート）を作成し評価。 ・ホームページにて報告データを公表すると共に、年度末に河川地図上、流域ごとに水辺診断書の結果を掲載する。 （５）その他 ・パックテストによる調査にあわせて、一般財団法人理化学分析センター、株式会社理研分析センター、一般社団法人山形県水質保全協ほか環境分析関係事業所の協力を得て、同一地点において公定法調査も実施し、パックテストの精度の参考としている。 ・上記環境分析関係事業所等からは、初めて参加するグループや小・中学生等のグループの要望に応えて、現地調査サポートの協力をうけ、専門的な分野から水環境に対する啓蒙活動も行う。 ・小・中学生の実施グループには、総合学習の時間などに水辺の環境を考える参考にしていただくため、報告を受けてから速やかに「水辺診断書」を作成し提供する。
事業実施期間	2019.4 ～ 2020.3
事業実施場所	山形県内全域
事　業　総　額	６００，０００円
助　成　金　額	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	快適な生活環境を守る会	NPO 法人富士市のごみを考える会
代　表　者	渡邉　政男	理事長　小川　浩
所　在　地	静岡県藤枝市稲川 440-3	静岡県富士市大淵９９－２７　熊谷宅
事業内容	小学生を対象とした「水環境教育」「浄化槽普及啓発」事業の実施 １．目的 小学校に出向き、４年生児童を対象とした水についての環境教育を計画しました。一般家庭で使われた水はどのようにして川に流され、自然へと返っていくかという水環境についての知識を習得し、水の大切さを学んでもらうことを目的とします。 ２．活動内容 （１）水の学習コーナー （２）浄化槽のミニチュアモデルコーナー （３）小型合併処理浄化槽の実物大カットモデルコーナー （４）浄化槽ビデオコーナー （５）浄化槽大カルタ大会	事業内容 当法人は、2003 年 12 月に富士市のごみの減量化及びリサイクルを推進するために設立した法人であるが、当市は富士山からの湧水が豊富な地域であり、水環境保全にも寄与していくことが必要であり、特に公共下水道が未整備の地区において、合併処理浄化槽を普及していくこともその目的を果たすことと考え、活動を行っています。そのため、一昨年度及び昨年度において、浄化槽に係る種々のテーマとした勉強会を実施したところ、地元住民から多くの参加や意見があり、本年度も開催の希望が寄せられています。そこで、本年度も引き続き、富士市（旧富士川町を含む）内で地域住民を対象にごみ問題や浄化槽を活用した水環境保全に関する講演、意見交換会を開催するものです。
事業実施期間	2019.6 ～ 2019.11（8 月は除く）	2019.8 ～ 2019.12
事業実施場所	【牧之原市実施予定校】８校 ① 学校組合立牧之原小学校　児童１５名　②牧之原市立川崎小学校　児童７８名　③牧之原市立細江小学校　児童６４名　④牧之原市立坂部小学校　児童１８名　⑤牧之原市立相良小学校　児童８５名　⑥牧之原市立菅山小学校　児童２３名　⑦牧之原市立地頭方小学校　児童３３名　⑧牧之原市萩間小学校　児童２０名 【島田市実施予定校】５校 ① 島田市立金谷小学校　②島田市立五和小学校 ③ 島田市立島田第一小学校　④島田市立島田第二小学校 ⑤ 島田市立島田第三小学校	富士市大渕地区・青葉台地区ほか数カ所
事　業　総　額	５００，１７２円	４００，０００円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	上林川を美しくする会	全国水源の里連絡協議会
代　表　者	会長　渡辺　弘造	会長・京都府綾部市長　山崎　善也
所　在　地	京都府綾部市野田町須知山 110-10	京都府綾部市若竹町８番地の１　綾部市役所
事業内容	「上林川を調べて・知って、守り育てる活動事業」 1. 目的 京都府内有数の清流として知られる上林川は、近年生活排水の流入などにより、水質の悪化が懸念されている。「上林川を美しくする会」は、上林川流域の住民、市民、行政の協働により設立され、上林川に清流をよみがえらせ、次世代に引き継ぐことを目的とし、継続して活動を実施している。 2. 内容 （１）上林川の水質等の調査分析、水生生物の調査を実施し、上林川の現在の状態を把握する。 （２）一般市民の協力、参加も得て、上林川流域のヨシ刈り作業や清掃活動を実施することにより、上林川の景観の美化を図る。 （３）会報等で積極的に上林川の情報を発信するとともに、水環境保全の啓発を行う。	情報誌「水の源」発行事業 1. 目的 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念のもと、水源の里地域における振興と水環境等の保全に取組む全国の自治体が連携し、水源の里振興の理念を国民運動として広げていく。 2. 活動内容 森林や水環境保全に大きな役割を果たす水源の里地域の情報発信、交流、連携を図るため、情報誌を発行する。 ・名　称　「水の源」（みずのみなもと） ・目　的　①水源の里の理念を全国に展開していく。 ②集落の情報を全国に発信していく。 ③下流（都市部）の皆さんの理解と協力を求めるとともに、交流を推進する。 ・発　刊　年４回 ・部　数　3,000 部／回
事業実施期間	2019.5 ～ 2020.3.31	2019.7 ～ 2020.3
事業実施場所	綾部市内	全国
事　業　総　額	７５０，９２０円	１，１０５，０８０円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	学校法人　大阪学園　大阪高等学校　科学探究部
代　表　者	科学探求部顧問　谷脇　鉄平
所　在　地	大阪府大阪市東淀川区相川２－１８－５１
事業内容	1. 目的 〇期待される効果 環境ＤＮＡに関する調査研究は、大阪府下の教育機関で事例はなく、淀川水系河川に生息する生物の遺伝子データの蓄積は重要な研究成果となる。 これらの研究成果を、理科教育の現場や市民向けのイベントで情報発信することで、科学探求部の生徒たちだけでなく、多くの生徒や市民が身近な自然科学により興味・関心を抱き、将来の進学目的や環境への意識等の芽生えに繋がると考える。 また、学力のボリュームゾーンである中間層の生徒を本校は預かっているため、偏差値にとらわれない生徒たちの伸びしろを伸ばす教育に取り組むことで、単に理科が受験科目としての捉え方だけでなく、学問としての重要性を生徒だけでなく教員も再認識するきっかけにも繋がると考える。地道な研究活動ではあるが、校内・地域内（ホーム）だけでなく、地域外（アウェー）での社会奉仕活動を行うことや外部の発表会等に参加することは、今後社会で求められる「生きる力・タフな人間力を育む」という生徒の育成に繋がる。 したがって、科学探求部の研究活動は、今後新しい理科・環境教育の実験教材として多くの学校に環境教育として導入が期待できる可能性を持っている。 2. 内容 〇研究内容 淀川（2018 年 2 月, 4 月, 8 月, 10 月, 2019 年 1 月）を環境ＤＮＡ分析した結果、環境省並びに大阪府が指定する絶滅危惧種等のＤＮＡが数種（ムギツク等）検出された。この結果を受けて、大阪市水道局に興味・関心を持って頂き大阪市水道局が管理する水道記念館で飼育されていた「ムギツク」を昨年度 5 月に科学探求部へ寄贈頂いた。本研究計画では、ムギツクの飼育を通じて繁殖も視野に入れて生体調査を行いながら、京都産業大学高橋准教授ご指導のもと、今年度 7 月以降からムギツクの生存状況について淀川広域で『環境調査活動（種特異的調査)』を行うことを目的とする。 〇研究計画 現在、科学探求部が計画する『環境調査活動（種特異的調査)』は、以下①～⑤のとおり。 ①ＤＮＡ抽出講習：今年度 7 月以降からムギツクのＤＮＡを抽出するため、昨年度 7 月から京都産業大学高橋研究室にて講習会を数回開いて頂いた。 ②ＤＮＡ採取：飼育個体ムギツクからＤＮＡすいすいによるムギツクＤＮＡの採取を行う。 ③ＤＮＡ抽出：採取したＤＮＡからミトコンドリアＤＮＡの抽出を行う。 ④ＤＮＡプライマー設計：ミトコンドリアＤＮＡの配列を分析し配列情報からサーマルサイクラー（ＰＣＲ法：種特異的調査）で検出できるＤＮＡプライマー（マーカー）の設計を行う。 ⑤ＤＮＡ解析：淀川広域における四季の水を採水し、その水をろ過し環境ＤＮＡ環境ＤＮＡを抽出した後、設計したＰＣＲプライマー（マーカー）の設計を行う。
事業実施期間	2019. 7. 1 ～ 2020. 3. 31
事業実施場所	学校法人大阪学園　大阪高等学校　化学実験室
事　業　総　額	２０４，１００円
助　成　金　額	１０２，０５０円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（公社）北海道浄化槽協会	（公社）茨城県水質保全協会
代　表　者	会長　丹羽　道正	理事長　成田　浩明
所　在　地	北海道札幌市豊平区平岸五条 7-7-10	茨城県水戸市吉沢町 650-1
事業内容	「浄化槽啓発用ポスター及び標語の募集並びにポスター制作」 事業内容 　道内在住の小・中学生を対象とした浄化槽に関係する啓発用ポスターを募集するとともに、優秀作品を環境パネル展等で公表・掲示する。また、併せて標語についても、年齢制限をせずに募集する。 　入選したポスターの１作品及び標語の１作品については、啓発用のポスター及びクリアファイルとして作成し、広く道内の自治体や会員企業等を通して浄化槽の普及啓発を行う。 　なお、ポスター等募集にあたっては、浄化槽の説明資料を添付し、多くの道民に浄化槽を知る機会と参加を誘導する。	①「花とふれあいまつり」 ②「水戸市環境フェア 2019」 ③「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」 ④「鉾田うまかっぺフェスタ」 ⑤「神栖フェスタ」 ⑥「鹿島まつり」 ⑦「グリーンフェスティバル」 ⑧「行方ふれあいまつり」 開催に伴う浄化槽の啓蒙活動 １．浄化槽の模型展示 ２．浄化槽普及啓発パンフレットの配布 ３．浄化槽に関するパネル展示 ４．生活排水に関するクイズの実施 ５．水を汚さない為の工夫のチラシ配布
事業実施期間	2019.4.1 ～ 2020.1.30	①2019.5.19、②2019.6.2、③2019.8.24、④～⑦未定
事業実施場所	北海道庁１階ロビー(啓発ポスター掲示)	①鬼怒フラワーライン、②千波公園、③霞ヶ浦環境科学センター ④～⑦未定
事　業　総　額	４０８，７３０円	４６２，１６０円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（一社）兵庫県水質保全センター	（一社）和歌山県浄化そう協会
代　表　者	会長　九坪　登志彦	会長　木谷　恭三
所　在　地	兵庫県神戸市中央区港島南町 3-3-8	和歌山県和歌山市南大工町２６
事業内容	「環境教育・浄化槽普及啓発パンフレットの印刷」 小中学生を対象に「生活排水」と「水の循環」をテーマとした河川での水質分析を行う環境教育を実施する。健全な水循環や公共用水域の水質保全に関して、各家庭から河川への流入水が及ぼす影響を調査検証することで、浄化槽の普及を図る環境教育を行う。 浄化槽の管理者等を対象とした浄化槽の維持管理を推進するパンフレットを作成し、浄化槽管理者・行政・関係団体等に配布する他、イベント等で参加者に配布して浄化槽の普及啓発を図る。	「環境学習で使用する教材冊子等の制作（印刷）・配布」 1，目的 県下の小学校で行う学習教材の作成と配布。 子供のころから、生活排水処理の大切さ、浄化槽を通して使った水をきれいにして自然に返すことを学んでもらうことを目的とする。 2．配布対象 ①和歌山県全域の小学校 4 年生全生徒（263 校 8,011 人と教諭等） ②自治体 ③行政や各団体が行う環境イベント来場者 3，教材内容 「水は地球から預かった大切な宝物」～使った水はきれいにして自然へ返そうね！ ア．教材 ①水の大切さや水は繰り返し使われていること。 ②川や海の汚れの原因 ③川や海をきれいにするには ④浄化槽のしくみ ⑤私たちで守ろう、きれいな自然ときれいな水 イ．下敷き ①環境を守るために私たちができることをやさしく解説 4．印刷数 教材 15,000 部　下敷き 10,000 部 5．実施計画 ア，実施期間　2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日 イ，実施方法 ①各小学校 4 年生の環境学習授業で教材として活用 ②自治体による環境活動で配布し活用 ③行政の環境出前授業で活用など
事業実施期間	（環境教育）2019 年夏　　（パンフレット等）2019 年夏	2019.4.1　～　2020.3.31
事業実施場所	（環境教育）洲本市、加古川市の中学校それぞれ１校（予定）	和歌山県全小学校　４年生環境学習授業
事　業　総　額	６６７，６００円	９００，０００円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（一社）鳥取県浄化槽協会	
代　表　者	会長　大川　和彦	
所　在　地	鳥取県鳥取市松並町 2-160　城北ビル 303 号	
事　業　内　容	『中海環境フェアの参加』 １．目的 　中海の浄化を考える様々なグループの取り組みや成果を市民の皆さんにご覧頂き、中海再生プロジェクトの実施する環境の保全を図る事業に参加し、浄化槽の普及啓発活動を行う。 ２．内容 　名称　中海環境フェア 　主催　ＮＰＯ法人中海再生プロジェクト 　共催　鳥取県・中海テレビ放送 　目的　中海の浄化に向け、より多くの市民に浄化槽について関心を持っていただき理解を深めていただく為に実物大の浄化槽とミニチュアの２種類及び解説パネルを展示し、浄化槽の働きについての説明と、パンフレットとトイレットペーパーを配布する。	
事業実施期間	2019 年 8 月	
事業実施場所	米子食品会館	
事　業　総　額	１９５，７６３円	
助　成　金　額	９７，８８２円	

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（公社）徳島県環境技術センター	（公社）香川県浄化槽協会
代　表　者	会長　吉村　正	会長　山条　忠文
所　在　地	徳島県徳島市新蔵町 3－80（徳島保健所内）	香川県高松市香西本町１－１０６
事業内容	1. 環境学習 学校教育において、環境学習を熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう。また、学校以外に各地域で取り組み環境保全活動においても講師を派遣し、水環境や浄化槽についての講演を行う。 内容 ・手作りのアメンボの模型を、水を張ったシャーレに浮かべ、洗剤を滴下し洗剤の与える影響を観察する。 ・干潟のモデルとしてアサリを使った水の浄化実験を行う。 ・身近な飲み物や、調味料をサンプルとし、COD パックテストを使って水の汚れ具合を調べる 2. 水環境保全啓発イベント 県内各地のイベントにおいて、水環境保全に関する啓発活動を行う。 内容 ・海岸生物調査 ・「紙すき」でリサイクル実験　など	1. 目的 次世代を担う子供たち(小・中)の環境学習を平成 25 年より実施し浄化槽の啓発啓蒙に努めている。 ２年前に作成したオリジナルテキスト「よみがえる水」も子供たちや大人にもわかりやすく好評で、実施校も増加、県からの依頼も増え夏休み講座も実施することができた。浄化槽という言葉を初めて知った子供、微生物ががんばっている姿を、まじかに見てビックリの子供たちなど水環境を少しでも意識し行動に移す、きっかけになっていると実感している。平成 30 年度より、高松市出前講座の環境学習にも登録し夏休み講座を実施した。より県民に浄化槽について理解が深まるような講座を考えています。自分ちが使った水(台所や洗たく)が川や海を汚してしまうこと、それをきれいにする「浄化槽」の役割や自分たちにできることについて、楽しく学べるようにし、それが大人にも広がることを目的としている。 〈構成〉環境学習　イベントに出展 依頼のあった小学校・中学校に出向き実施している。授業や総合学習に合わせて、先生との話合いで内容を構成している。一般的に座学と実験を組み合わせている。テキスト「よみがえる水」を使用し川や海の水質汚濁の原因が生活排水であることを知ってもらい、水を大切に少しでも汚さないために自分たちは何ができるか考えてもらう。より理解を深めるために、実験し体験してもらう。 （実験内容） COD・透視度・色・におい・pH・微生物の観察・手作りアメンボ・浄化槽ミニモデル　県依頼のイベントに出展し水環境の保全・浄化槽の啓発啓蒙に役立てる。
事業実施期間	2019.6～ 2020.3	2019.4～ 2020.3
事業実施場所	徳島県内	香川県内の小・中学校およびコミュニテイセンター及びイベント会場
事　業　総　額	２２１，４００円	４０５，０００円
助　成　金　額	１１０，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（公社）愛媛県浄化槽協会
代　表　者	会長　寺井　政博
所　在　地	愛媛県松山市辻町２－31
事業内容	環境学習の座学講座で実施する小冊子の印刷・製本並びに体験型学習の教材としてパックテスト（COD）、手作り顕微鏡キットを使用する １．目的 次世代を担う子どもたち（小・中学生）を対象に、一般家庭で使われた水がどのように川に流され、自然に返るか等、水環境に関する知識や水の大切さを教材等を使い、実際に体験し理解してもらうことを目的として、平成25年度より環境学習を実施している。各授業は座学講座に体験型学習（実験・観察等）を組み合わせて実施しており、2019年度の環境学習（座学講座）にて使用する小冊子を印刷・製本する。なお、授業で使用した小冊子は児童及び教職員に配布する。 体験型学習では生活排水がそのまま川に流れると、どれくらい川が汚れるかパックテスト（COD）を使い水質を測定する。 また、川の水や浄化槽をきれいにする微生物を、手作り顕微鏡キットを作成し、実際に観察する。 ２．小冊子の内容 くらしと水の関わり、川の今昔、水の大循環等の説明を行い、結果として水を大切にするために私たちが出来ることは何かを考えていく。 ①くらしの中での水の使われ方 学校、家庭等生活の中で、水はどの様に使われているのか、また、私たちの暮らしと水との関わりを知る。 ②昔と今の川について 使った水が汚れていること、またその水が川や海へと流れていくことを知る。 川の今昔から、自浄作用の仕組みを知り、現在の川の汚濁の主原因である生活排水について考える。 ③みんなが出来ること 生活排水をどのようにして自然に返してあげるのがよいかを考える。また、その実現のために私たちに何が出来るのかを考える。 ④水の大循環について 水の大循環から、学校や家庭等生活の中で使う水が、どのように姿や形を変えて最終的に何処へ行きつくのかを知る。 なぜ私たちは使った水をきれいにしなければならないのかを知る。 ２－１．印刷・製本数 過去最多の参加実績がある、平成26年度を参考とする。 ※平成26年度実績：28校と2イベント　対象児童：865名 →教職員への配布数も考慮して1,000冊とする。 ３．水質測定（パックテスト）の内容 生活排水がそのまま川に流れると、どれくらい川が汚れるか。 「洗濯洗剤」、「ジュース」、「うどんの汁」、「水道水」、「手洗い後の水」の汚れを、パックテスト（COD）を使用し測定する。 ３－１．パックテスト（COD）数量 平成26年度に実施した環境学習が、体験型学習としてパックテストを体験した児童数が525名と最も多いため参考とする。 今年度は、他の体験型講座を推薦し案内を行うことから、平成26年度実績の約半数260名を予定する。 ※パックテストは一人一個使用 →講師用及び予備を考慮し、300名分とする。 300個　÷　50個／箱　＝　6箱 ４．手作り顕微鏡キットの内容 市販の手作り顕微鏡キットを、自分の手で組み立て、協会が用意した微生物を手作り顕微鏡にて観察する。 小冊子に載せている微生物図鑑と見比べて微生物の種類や動き等を観察してもらい、微生物を身近に感じてもらう。 ４－１．手作り顕微鏡キットの数量 2019年度に手作り顕微鏡キットを用いた浄化槽普及啓発イベント予定 ①令和元年7月20日（土）　サマーエコキッズ　定員30名 ②令和元年8月17日（土）　まちのがっこう　定員20名 ③令和２年2月予定　内子町環境こども会議　定員40名 →合計90名の予定だが、予備等を考慮し、100名分とする。
事業実施期間	2019.4.1～2020.3.31
事業実施場所	愛媛県内の各小・中学校
事　業　総　額	２５１，６３２円
助　成　金　額	１２５，８１６円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「２０１９年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（一財）福岡県浄化槽協会	（公財）鹿児島県環境保全協会
代　表　者	理事長　三浦　正吏	理事長　柴立　鉄彦
所　在　地	福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬９６６－７	鹿児島県鹿児島市宇宿 2-9-9
事業内容	「令和元年度浄化槽シンポジウム福岡の開催」 事業内容 　県民の環境意識の向上、地方自治体の財政の逼迫、迎えている少子高齢化等の社会状況の変化の中、それぞれの市町村に相応しい生活排水処理計画を構築するための一助とすべく、議会、行政及び浄化槽関係者等を対象にシンポジウムを開催するもの。	事業内容 　鹿児島県内の市町村（特に生活排水処理率の低い地域）で開催されるふるさと祭り等に浄化槽コーナーを設けて出展し、地域住民に対して浄化槽の普及啓発活動を行う。 《主な内容》 ・生活排水対策に関するパネル展示 ・浄化槽設置推進に関するリーフレットの配布 ・浄化槽に関するクイズの実施 ・浄化槽に関する相談対応
事業実施期間	2020.2.7（予定）	2019.10.20～ 2019.11 下旬
事業実施場所	ホテルニューオータニ博多	鹿児島県内の５市町
事　業　総　額	２，１００，７００円	４１０，５４７円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円